

身体的拘束の最小化に向けた当院の取組

当院は、原則として身体的拘束を行わない方針です。

1. 当院の基本方針

当院では、患者さん一人ひとりの尊厳と主体性を大切にし、身体的拘束を行わないケアの提供に最大限努めます。患者さんの状態やご意向を踏まえ、安全の確保と尊厳の保持を両立できる医療・ケアを目指します。

2. 身体的拘束を行わないための主な取組

- 患者さんの状態や身体的拘束につながる原因を、多職種で検討します。
- 見守りの強化、療養環境の調整、低床ベッド、床マット、離床センサーなど、代替方法を優先して検討します。
- 身体的拘束最小化チームが実施状況を把握し、解除や代替策について病棟へ助言します。
- 委員会の開催や職員研修を通じて、身体的拘束の最小化に継続して取り組みます。
- 患者さん・ご家族等に当院の方針と取組を説明し、ご意向を十分にお伺いします。

3. 身体的拘束の実施率

当院では、身体的拘束の実施状況を継続的に集計し、その推移を公表しています。

2026年度 身体的拘束率

4月	5月	6月	7月
14%	13%	12%	10%

※実施率は定期的に更新し、院内掲示および当院ウェブサイトで公表します。

4. 今後に向けて

当院は、身体的拘束の実施状況を定期的に評価し、身体的拘束を行わないケアと早期解除に向けた改善を継続します。